195頁起し

↑5字下げ↓

「実説艸平記」雑記　平山三郎

9ポ

←3字

1字上げ

5行ドリ

『実説艸平記』は昭和二十六年六月に新潮社の刊行に、二八〇頁に二百四十円で箱ナシに、カバア装四六判画を安井曾太郎画伯がかいてゐる。

「サラサーテの盤」から「ゆふべの雲」までの五篇は「創作」欄に載つた小説[redacted]。

後半に

「亀鳴くや」から「実説艸平記」まで

紀伊國屋製

K6

ポ44字×18行　奇数頁起し